読書感想文（二・三年生）　下書き用①

だい名（めい）→

学年（がくねん）・組（くみ）・名前（なまえ）→

はじめ　（本をえらんだわけや　きっかけ）

★一つか二つ　えらぼう。

□ひょうしの絵（え）や、本（ほん）の中（なか）の絵（え）が気（き）に入った。

□どんなお話（はなし）か　知りたく　なった。

□すすめられたので　読みたくなった。

□だい名を　しょうかいする。

□お話（はなし）をかんたんにせつ明する。

□しゅじんこうや、出てくるものをしょうかいする。

なか ①　（気もちがうごいた　場めん　　そのときの気もち）

つよく気もちが　うごいた　場めん

★あらすじが多くならないようにしよう。

そのときの　気もち

はるのすけ

さいごまで　がんばるぞー！

読書感想文（二・三年生）　下書き用②

なか ②　（気もちがうごいた場めん　そのときの気もち）

気もちが強く うごいた場めん

そのときの気もち

おわり　（つよく思ったことなど）

□ 一ばんつよく心（こころ）に のこったことを書く。

□ 主人公と、自分をくらべて 考えたことを書く。

□ これからしたいことや ゆめを書く。

★さいごまでかけたら だいめいをかんがえてみましょう。

★さくぶんようしのかきかたを みなおしてみましょう。